

# 世界遺産への道

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

広報  
ふく  
2016  
10

No.  
141

発行



福津市

編集

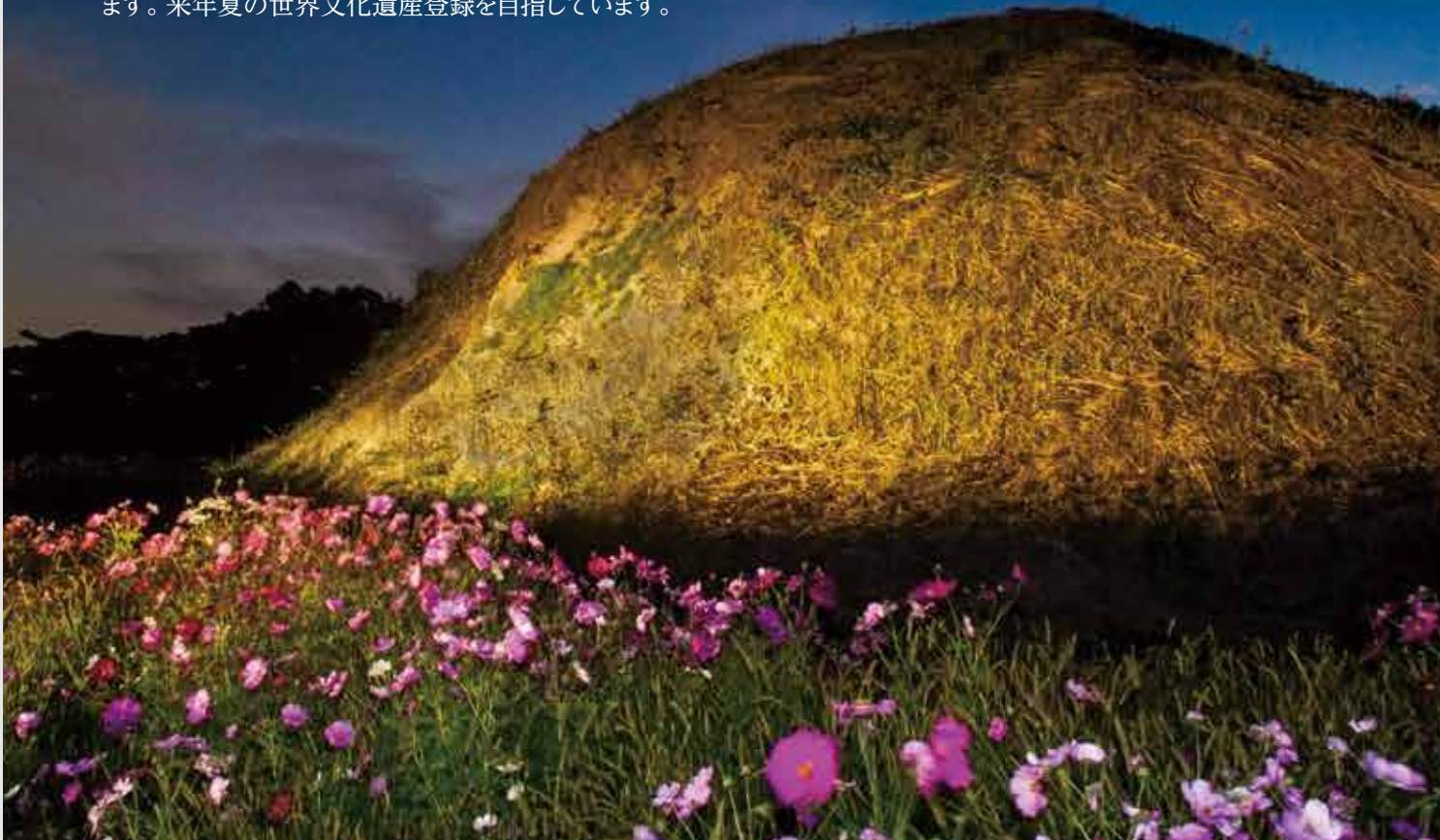
広報秘書課 〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

印刷

久野印刷株式会社

## 新原・奴山古墳群

市の北部の勝浦地域にある新原・奴山古墳群は宗像市の沖ノ島や宗像大社と共に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産に含まれています。来年夏の世界文化遺産登録を目指しています。



今月から、このコーナーでは地域の誇りである新原・奴山古墳群を含む「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を紹介します。

新原・奴山古墳群を世界遺産に!

届け私の思い

観光ボランティアガイドに話を聞きました。

### 遺産を未来に引き継ごう



上田 哲也 さん

私たちの先輩たちの努力によって現代まで残された古墳。私たちは未来に伝える必要があると思います。そのことによって子どもたちが、自分たちがこんな歴史のある場所に住んでいるという誇りにつながると 생각합니다。

### 古墳周りの風景を守ろう



末廣 公香 さん

古墳群の周りは水田になっただけで、とても美しい風景だと思います。1500年から1600年もの長い年月受け継がれてきたこの田園風景が、これから先もずっと末代まで受け継がれていくって欲しいものです。

### 石室が見たいですね



竹本 武利 さん

ガイドをしているとお客様から、「古墳の内部を見たい」という声をよく耳にします。新原・奴山古墳群は石室を見学できる整備ができていないので、今後石室内部を見学できる整備ができればいいですね。